

# 利用報告書

平成4年3月17日

課 題 名	バイオコンピュータに関する基礎研究
	Basic Study on Bio-computer.
利 用 者 名	今泉 重夫 (社会学部産業社会学科・教授)
<p>1. 研究目的・内容</p> <p>現在、広く利用されているノエマン型コンピュータは種々の問題があることがわかり、生体機能を積極的に取り入れたバイオコンピュータが最近、開発されつつある。その基礎研究を行っている。</p> <p>2. 研究方法・計算方法</p> <p>バイオコンピュータ用の素子を生体膜・人工膜より開発し、その特性を測る作業を行っている。そのための熱容量スペクトロスコープ装置を開発中である。現在、デジタル制御により装置の動作を確認するためのシュミレーションを実施している。</p> <p>3. 研究成果</p> <p>装置の制御と運転のためのソフトウェアの改良、そのバージョンアップを行い、シュミレーションを続行中である。また、システム・ハードウェアの設計を行った。</p> <p>4. 発表</p> <p>1. 今泉重夫 “一解説一 教育研究支援統合ネットワーク・システムの概要” 奈良大学情報処理センター年報：2 p1 (1991)</p> <p>2. 今泉重夫、米谷淳、市ノ瀬慎一 “社会学部における入学試験と入学後の成績 について” 奈良大学紀要：20 p301 (1992)</p>	